

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Irma Swain, Communications Manager
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 931-6653
iswain@rfmd.com

RFMD 社、マルチマーケット・プロダクツ・グループを設立

*事業統合により多様な市場分野／アプリケーションで
RF ソリューションのリーダーをめざす*

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年11月20日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム／ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社(ナスダック: RFMD)は昨日シレンザ・マイクロデバイス社との合併完了を発表したばかりだが、これに続いて本日、マルチマーケット・プロダクツ・グループ(MPG)の設立を発表した。MPGを率いるのは旧シレンザ社の社長兼CEOだったボブ・ヴァン・バスカーク。MPGはエリック・クレビストンが率いる携帯端末製品グループ(CPG)と共にRFMD社の社長兼CEOであるボブ・ブラッグワースの指示を受ける。

「MPG(マルチマーケット・プロダクツ・グループ)の設立により、RFMD社はその事業の多様性を大きく広げ、携帯電話端末市場の先にある新たな高収益の成長機会を追求できます。RFMD社は非常に幅広い技術、製品、サプライチェーンの能力を持っており、MPGはこの幅広い能力を活用・展開して多様なマルチマーケット市場や世界中のお客様によりよいサービスを提供していきます。」とMPGのリーダーとなるボブ・ヴァン・バスカークは語る。

技術、製品、サプライチェーン上の主な利点には以下のものがある。

- RFMD社の高性能窒化ガリウム(GaN)半導体プロセス技術をCATV用の電力増幅器(PA)、革新的な新発光アプリケーション用パワー・モジュール、および携帯電話インフラやWiMAXインフラ向けのPAモジュールに展開可能。
- 携帯電話端末に利用されている既存の知的財産を、広範囲なブロードバンド機器、民生機器、無線接続機器に再展開できる。
- ミキサー、RFスイッチ、可変減衰器、制御デバイス、PA ICなどMPGの持つ業界最高レベルの標準製品ポートフォリオに、携帯端末用の高集積度RFソリューションに組み込まれている既存のCPG製品を追加可能。
- RFMD社が現在開発中の最新技術へのアクセスが可能。これには微小電気機械システム(MEMS)、内蔵RFシールド、最先端技術によるマルチチップモジュール(MCM)パッケージング、次世代GaAs HBT、GaAs pHEMTを含む最新ガリウム砒素(GaAs)半導体技術などがある。
- サプライチェーンの大幅な効率改善。これには、各種コンポーネントや半導体ウエハの調達能力の強化、業者の共通化によるICパッケージ調達の効率化、RFMDが業界をリードする垂直統合ウエハ製

造工場、IC/モジュール組立工場、試験施設などを活用した研究開発サイクルタイムの大幅な短縮が含まれる。

MPGは、以下に示す市場指向型の5事業部門でビジネスを推進する。

- 航空宇宙部門
- ブロードバンド／民生部門
- 無線接続部門
- 無線インフラ部門
- 標準RFコンポーネント

MPGの5事業部門について、また上記のビジネス上の利点について更に詳しい内容が11月15日(木)に開催されるRFMD社の2007年アナリスト・デイで紹介される(東部標準時で概ね7:30~11:00)。このイベントのライブ放送は同時にインターネット上で提供(Webcast)されるため、興味のある人は誰でも<http://www.rfmd.com>にアクセスして聞くことができる。ライブWebcastは音声放送のみだが、再生用として保存することは可能。

RFMD社について:RFマイクロデバイス社(NASDAQ GS RFMD)は、無線通信／ブロードバンド通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム／ソリューションを設計、製造する業界リーダー。RFMD社の携帯電話用フロントエンド、携帯電話用トランシーバ、システムオンチップ(SOC)ソリューションは携帯端末、携帯電話基地局、無線LAN(WLAN)、CATVネットワーク、航空宇宙、防衛、GPS等の市場で活用され、その最先端の機能をサポートして通信能力を強化し、世界全体のモビリティを向上させている。幅広い分野の最新半導体技術とRFシステムの専門技術で知られるRFMD社は、移動通信機器やRFシステムを手がける世界中の一流メーカーから最も信頼されている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001およびISO 14001の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.comに紹介されている。

「将来的な予測」の記述について

このプレス・リリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RFマイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウエハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投

入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確定性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確定性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD®は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###